

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」目標及び実績

課題の類型 1	課題の類型 2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために 令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度にお ける取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	現 状 の 数 値	単 位	本 年 度 の 目 標 値	本 年 度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
①学校運営上 の課題	社会に開かれ た教育課程へ の対応	県全体としてコミュニティ・ス クールの導入の機運は高まっ ているものの、市町村によつて 温度差がある。コミュニティ・ス クールや地域学校協働活動の 意義や魅力が十分に周知され ていない。	・コミュニティ・スクールや地域学校協働活 動について学べるよう「コミュニティ・スクー ル、地域学校協働活動研修会」を開催した り、ハンドブックやeラーニング教材の周知 を行う。 ・希望する市町村や学校にコンサルタントを 派遣し、コミュニティ・スクールの導入・運営 について指導・助言を行う。	・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動 の魅力を伝えるため、ポスターセッションを 取り入れ、多くの事例にふれたり意見交換し たりすることができるようにする。 ・未導入の市町村や学校を優先し、現状と 課題をしっかりと把握した上でコンサルタン トを派遣し、指導・助言を行っていく。	学校と地域の連携・協働が進 み、コミュニティ・スクールの導入 校が増加する。	コミュニティ・スクー ルの導入校数(コ ミュニティ・スクール 及び地域学校協働 活動実施状況調査)	小385 中158 義務1 高校4 特支4	校	前年 度を上 回る	小412 中166 義務1 高校4 特支4	03 本報 告の目標 達成を確 信し、課題 の改善が 見られた ・研修会の開催、リーフレットの活用等とおして、コミュニ ティ・スクール及び地域学校協働活動について周知・啓発を 図ることができた。 ・小・中・義務教育学校でのコミュニティ・スクールの導入は、 順調に進んでいる。来年度以降、県立高校へのコミュニ ティ・スクール導入について今まで以上に周知するとともに、 導入に向けた支援を考える必要がある。 ・導入計画が未策定の市町村に対しては、県内の状況や好 事例を紹介し、情報伝達に注力する必要がある。